

(電子メール施行)
農技1072号
平成28年5月2日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

平成28年度病虫害発生予報第1号を発表します。

平成28年度病虫害発生予報 第1号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
イネ	苗立枯病	平年並	平年並
	ばか苗病	平年並	—
ムギ	赤さび病	平年並	やや少
	赤かび病	やや多	—
	ヒメトビウンカ	やや多	平年並
春キャベツ	黒腐病	やや少	少
	菌核病	やや多	平年並
	モンシロチョウ	平年並	やや少
	コナガ	やや多	平年並
	ヨトウガ	平年並	平年並
	アブラムシ類	やや少	少
春レタス	菌核病	やや多	平年並
	灰色かび病	平年並	やや少
タマネギ	べと病	やや多	やや多
	細菌性病害	やや多	やや多
	ネギアザミウマ	やや多	やや多

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報

(4月30日から5月29日までの天候見通し)

平成28年4月28日
大阪管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

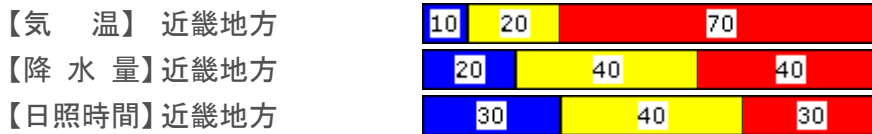
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わらでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

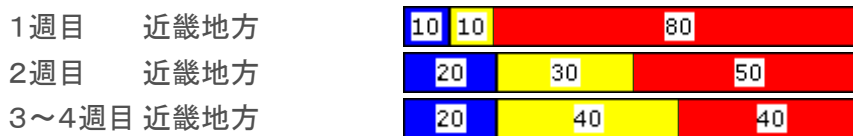
週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

- 1か月 : 4月30日(土)～ 5月29日(日)
- 1週目 : 4月30日(土)～ 5月 6日(金)
- 2週目 : 5月 7日(土)～ 5月13日(金)
- 3～4週目 : 5月14日(土)～ 5月27日(金)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

イネ

1 【苗立枯病】

- (1) 予報の内容 発生量：**平年並**
- (2) 予報の根拠
- ア 県北部地域で苗立枯病の発生が認められた。
育苗期は、日々の温度格差が大きいことから、ムレ苗になりやすく、発病を助長する可能性がある。
- イ 1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、発病に好適条件である。

2 【ばか苗病】

- (1) 予報の内容 発生量：**平年並**
- (2) 予報の根拠
- ア 現在のところ発生は未確認であるが、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、発病に好適条件である。

ムギ

1 【赤さび病】

- (1) 予報の内容 発生量：**平年並**
- (2) 予報の根拠
- ア 現時点ではやや少ないながら発生を確認しているが、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、発病に好適条件である。
- イ 今後の高温により、病勢が進展すると予想される。

2 【赤かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：**やや多**
- (2) 予報の根拠
- ア シロガネコムギの出穂日は平年より12日早く（加西市、農業技術センター）、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、発病に好適条件である。
- イ 今後の降雨により、病勢が進展すると予想される。
- (3) 防除上の留意点
- ア 防除は、開花期始め～開花期盛期に薬剤散布を徹底する。4月11日発表の「平成28年度病害虫発生予察防除情報第2号」を参照。
- イ 薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考にし、農薬使用基準を守ること。
兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

3 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多（発生時期はやや早い）
- (2) 予報の根拠
- ア 予察ほ場における調査では越冬世代虫の発生量は平年並であったが、早い時期から成虫が認められ、ムギへの飛来時期がやや早いと考えられる。
- イ 1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後の越冬世代成虫のムギへの飛び込みが増えるとともに、ムギにおける次世代虫（第1世代虫）の増殖が進むと考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 不耕起田等イネ科雑草が繁茂しているほ場は、ヒメトビウンカの越冬場所になっており、ムギへの飛来源となることから、すき込みを早めに実施すること。
- イ ムギで増殖したヒメトビウンカは、その後水田に移動してイネ縞葉枯病を引き起こす原因になる。昨年度イネ縞葉枯病が多発した地域では、不耕起田等のヒメトビウンカ越冬場所、第1世代の増殖場所となるムギでの対策を実施することが望ましい。

春キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 予察ほでの調査では発生を認めなかったが、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後の発生が予想される。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 予察ほでの調査では平年並の発生が認められ、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後の発生を助長すると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 発病株は菌核を形成しないうちに抜き取り、ほ場外で処分する。ほ場内に菌核を放置しない。
- イ 薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考にし、農薬使用基準を守ること。
- 兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

3 【モンシロチョウ】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア ほ場周辺で成虫の飛翔が観察されており、今後気温の上昇に伴い幼虫の発生がみられると予想される。

4 【コナガ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 予察ほでの発生は平年並みであるが、加西市のフェロモントラップ、加西市、南あわじ市の予察灯において成虫の発生が認められている。

イ 今後、気温の上昇に伴い、発生の増加が予想される。

5 【ヨトウガ】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 予察ほでの発生は認めていないが、加西市のフェロモントラップにおいて、平年並の発生が確認されている。

イ 今後の気温の上昇に伴い、幼虫の発生が予想される。

6 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 予察ほでは発生を認めていないが、今後の気温の上昇に伴い、発生が予想される。

春レタス

1 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 予察ほにおいては平年並の発生であったが、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後の発生が助長されると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 発病株を見つけたら、新たな菌核をつくらぬうちにほ場外に持ち出し、処分する。

イ 薬剤については兵庫県農薬情報システム等を参考にし、農薬使用基準を守ること。
兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

2 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並み

(2) 予報の根拠

ア 予察ほでの調査ではやや少ない発生であったが、1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後は平年並の発生があると考えられる。

タマネギ

1 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 4月下旬の淡路地域における予察ほ調査では、発病ほ場率、発病株率とも高かった。

イ 3月16日付けで「平成27年度発生予察注意報第3号」を発表し、防除対策を指導した結果、発病は抑制された。

ウ 1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後も感染は増加すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

2 【細菌性病害】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 4月下旬の淡路地域における予察ほ調査では発病ほ場率、発病株率とも高かった。低気圧の通過による強風で葉が傷み、感染が助長されたと考えられる。

イ 1か月予報によると、気温は高く、降水量は平年並または多いと予想され、今後も発生は増加すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 4月5日発表の「平成28年度病害虫発生予察防除情報第1号」を参照。

イ 貯蔵腐敗を防ぐため、適期に収穫するとともに、圃場でタマネギを十分乾燥させてから取り入れること。

ウ 薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

3 【ネギアザミウマ】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 予察ほでの調査では発生ほ場率、発生株率ともやや高く、気温の上昇に伴い、現在の発生状況が続くと予想される。

* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)